



# こいけ 正 昭 小池まさあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 成田空港機能強化のNAA提案

## 県の体制強化求める



9月県議会で一般質問を行う小池正昭県議

小池正昭県議(成田市、2期)は9月県議会で登壇し、知事ら県執行部に県が直面している課題について現状と今後の方針を質問しました。地元の成田空港問題では、先の四者協議会で成田国際空港株式会社(NAA)から提案された運用時間制限緩和などの空港機能強化策を取り上げ、「県は体制を充実し、しっかりと受け止めるべき」として、対応を質問しました。また、農業の担い手不足の問題では機械化、ロボット化への取り組みを要望しました。

小池議員 去る9月27日の成田空港に関する四者協議会において、成田空港の将来の目指すべき姿ともいべき具体的な案がNAAから示された。空港規模を2400坪まで拡大させ、3500坪の滑走路を新設現在のB滑走路を北側に1000坪伸ばして3500坪とし、22時台の便数制限の廃止と運用時間制限方「フュー」も変更することで、年間発着回数50万回を目指すというものである。

県は、今回の機能強化策についてもまずは、騒音対策や周辺地域の振興策について、

### 9月定例県議会一般質問

いてしっかりと対応し、住民の不安を取り除く作業を丁寧に行いながらその責任を果たしていくべきである。成田空港の更なる機能強化に関する空港会社の提案に

## 県として空港周辺の広域的将来像を示せ

小池議員 圏央道の整備の進展と併せ、空港の機能強化の効果を最大限活用するため、空港周辺地域を含めた広域的な将来像について検討すべきと思うがどうか。

## ネットワークの維持 しっかりと国に要望

知事 空港会社からは、成田空港の更なる機能強化により、将来的な需要は発着回数50万回、旅客数7千5百万人と現在の約2倍に達するとの説明が行われております。

小池議員 2014年の羽田空港への国際線増枠によつて、いわゆる羽田シフトが起こり成田空港は大きな影響を受けた。そこでかがが、羽田空港の国際線の充実について、成田空港への影響を県はどのように認識しているのか。また、成田空港のネットワークの維持のために県としてしっかりとした対応を望むが見解はどうか。

総合企画部長 近年の羽田空港国際線枠の増加により、一時的な影響は避けられないものの、今後の旺盛な航空需要により、成田空港は、

小池議員 2014年の羽田空港への国際線増枠によつて、いわゆる羽田シフトが起こり成田空港は大きな影響を受けた。そこでかがが、羽田空港の国際線の充実について、成田空港への影響を県はどのように認識しているのか。また、成田空港のネットワークの維持のために県としてしっかりとした対応を望むが見解はどうか。

このため、県では部局長で構成する「成田空港活用推進本部」におきまして、情報や諸課題を共有し、機能強化の検討の進捗に合わせ、これらの課題の解決に向け、全庁をあげて取り組んでまいります。

このため、県では部局長で構成する「成田空港活用推進本部」におきまして、情報や諸課題を共有し、機能強化の検討の進捗に合わせ、これらの課題の解決に向け、全庁をあげて取り組んでまいります。

このため、県では部局長で構成する「成田空港活用推進本部」におきまして、情報や諸課題を共有し、機能強化の検討の進捗に合わせ、これらの課題の解決に向け、全庁をあげて取り組んでまいります。

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

小池まさあき 県議事務所 〒286-0025 成田市東町155-3 TEL.0476(22)0688

●メールもお気軽にご利用下さい。 koike@ngy.3web.ne.jp



# 農業担い手不足に

## ロボットを導入



資料を提示して県執行部に質問

### GPSトラクターなど実証試験

小池議員 本県農業のラ イバルの茨城 県においては、 本年3月、「ロ ボットイノベ ーション戦略」 を策定、これ に基づき分野 別にロボット技術利用研究 会が設置され、先ずは高齢 化や担い手不足が課題とな っている農業分野においての 研究会が立ち上がった。

既にロボットスーツの活用 やドローンの利活用について の具体的な動きも発表され ているところで、今後の展 開に大きな注目が集まっ

ている。そこだろうか。が、 本県農業における機械化・ ロボット化技術導入の現状 はどうか。

農林水産部長 県では、 生産者団体や機械メーカー と連携し、省力化による規 模拡大や農家の労力軽減 を図るため、機械化やロボ ット化を推進しています。

具体的には、実演会の開 催や補助事業の実施などに より、「掘り取り反転作業を 行う落花生収穫機」「掘り取 りから収穫物の回収までを 1台で行えるネギ等の収穫 機」「全自動で牛乳を搾る搾 乳ロボット」などの導入が進 んでいます。

などの上げ降ろ し作業を軽減 させる「アシス トスーツ」など、 最新技術の現 地実証試験に 取り組んだこゝ ろであり、今後 は、導入コスト

の低減や作業 性の向上などの課題解決を 図り、県内各地での導入を 目指してまいります。

小池議員 担い手不足や 担い手の高齢化対策として 機械化一貫体系、ロボット 技術の導入を促進すべきで あると考えるが、県として どのように取り組んでいく のか。

また、GPSを利用した 「ロボットトラクター」や、 収穫物を収納するコンテナ

農林水産部長 担い手の 高齢化や労働力不足が進む 中、本県農業を更に振興し ていくためには、経営改善 の観点から機械化やロボッ ト利用を促進し、生産性の 向上と省力化を図っていく ことが重要です。

このため県では、国の研 究機関等と連携し開発した 落花生収穫機や、農家の声 を生かし機械メーカーに改 良を促したヤマトイモ定植 機など、機械化を促進する とともに、機械作業に適し た栽培方法の改善などに取 り組んでいます。

今後とも、産地が直面す る課題に対応した実用的な 機械化などの取り組みを更 に進めるとともに、次世代 の農業経営を支える高性能 で革新的な機械化・ロボッ

### 成田市場の輸出拠点化へ支援

小池議員 成田市公設地 方卸売市場の輸出拠点化に ついて、県はどのように関わ っていくのか。また、移転整 備後、輸出拡大に向けての ように支援していくのか。

農林水産部長 成田市公 設地方卸売市場の輸出拠点 化は、県内市場や産地の活 性化はもとより、県産農林

水産物の輸出拡大にもつな がる重要な取り組みである と認識しています。

### 日本遺産に北総の町並み

小池議員 今年度、佐倉・ 成田・佐原・銚子を対象と して千葉県が代表自治体と なって申請した「北総四都 市江戸紀行・江戸を感じる 北総の町並み」が、本年4 月に日本遺産に認定された。

これを機に香取市佐原そ の周遊をどのように誘引さ せていこうと考えているの か。

商工労働 部長 県内 各地へ外国 人観光客を誘致するうえ で、今回、北総4都市が日 本遺産に認定されたことは、 北総方面への誘客において 大きなチャンスであると認 識しています。

そのため、今年度は、成 田空港から香取・銚子方面 への高速バスの実証運行や鉄 道を利用したフリーパスを 成田空港内の駅等で販売す るなど、空港からの二次交

ト技術の導入促進につい ても、検討してまいります。

小池議員 担い手 の高齢化と減少につ いては、現実的に離農する 人数に対して新規就農者は 追いついていない現状が続 いている。

機械化の推進とロボット 化技術の利用について、進 めていくとの答弁であつた が、農業県として様々な技 術を持つている民間企業と 連携をするなど、先進的な 取り組みに期待をしたい。

そのため県では、輸出に適 する国や品目を検討する成 田市場輸出拠点化推進協議 会へ参画するとともに、国 の交付金を活用した効率的な 市場整備のために、輸出拡 大に向けた課題への解決策

通の充実に加え、台湾やタ イ王国における海外旅行博 等において、地元市と共に 観光プロモーションを実施し てまいります。

今後はこうしたプロモ ーションに加え、「日本遺産北 総四都市江戸紀行活用協 議会」や観光関連事業者等 とも連携しながら、外国人 観光客を受け入れる観光・ 宿泊施設や観光ガイドを増 やしていくなど、受け入れ 体制の一層の充実にも取り 組んでまいります。

今回の結果を分析したと ころ、生徒の英語力について は向上しており、英語の授業 内での生徒、教員の英語の使 用量も増えておりますが、一 方、教員の資格取得率や高 等学校でのALTの授業で の活用率が低いこと等の課 題が見られ、引き続き教員 の資質向上と授業改善に努

や、事業スケジュールなどに ついて、助言を行っているこゝろです。

また、移転整備を見据え て、成田市や協議会等と連 携を図りながら、卸売会社 等による試験輸出・先進事 例調査や、海外でのプロモ ーション活動など、成田市場の 輸出拠点化に向けた取り組 みを支援してまいります。

### 花植木センター跡地 成田市に売却へ

小池議員 成田市より県 所有の花植木センター跡地 を輸出拠点化事業を行う卸 売市場の再整備用地として 買い取り希望があつたが、県 は今後どのように対応して

### 英語教育の充実求める

小池議員 平成27年度英 語教育実施状況調査につい て、県としてこの結果をどう 評価し分析しているか。

教育長 平成27年度英語 教育実施状況調査について は、その結果に一喜一憂する ことなく、今後の英語教育の 指導の改善に生かすことが 重要であると考えておりま す。

小池議員 本県教員の資 格取得率は全国と比較して どのような状況か。

教育長 平成27年度英語 教育実施状況調査では、英 検準1級相当以上の資格を 有する本県英語科教員の割 合は、中学教員が30.3%で 47都道府県中15番目、高校 教員は39.2%で47番目と なっております。

小池議員 教員の 意識を高めると共に、 資質の向上を図るよう一 層の努力を求める。

英検準1級相当以上 資格を持つ教員数 高校は全国最下位